ホクコーラブサイドキラップフロアブル

■種 類 名：エチプロール・フサライド水和剤
■有効成分：エチプロール---------- 2.5%
　　フサライド---------- 12.0%
■化管法指定物質：フサライド［第１種］ ---------- 12.0%

■登録番号：第23497号
■毒　　性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
■登録初年：2014.07.23
■性　　状：類白色水和性粘稠懸濁液体
■有効年限：5年
■包　　装：1ﾘｯﾄﾙ×12本、2ﾘｯﾄﾙ×6缶
　　20ﾘｯﾄﾙ×1缶(1年)

【特長】

- いもち病防除剤として効果の高いラブサイドと殺虫剤キラップとを混合したフロアブル剤。
- エチプロールの作用により、カメムシ類に対して安定した防除効果を発揮する。

【適用内容】（2024 年 11 月末日現在）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エチプロールを含む農薬の総使用回数	フサライドを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類	500 倍	60～200 ﾘｯﾄﾙ/10ａ	収穫 14 日前まで	２回以内	散布	２回以内（は種時(直播)又は移植時までの処理は１回以内）	３回以内
	いもち病 カメムシ類	150 倍	25 ﾘｯﾄﾙ/10ａ					
		4 倍	0.8 ﾘｯﾄﾙ/10ａ			無人ヘリコプターによる散布		

【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 使用前によく振ってから使用すること。
- 本剤はいもち病発生に際して予防的に散布した方がより効果的である。葉いもちに対しては発生が予想される場合又は初発生をみたら直ちに散布すること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
  - ◆ ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
  - ◆ 関係機関(都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は、次の注意を守ること。
  - ◆ 各散布機種の散布基準に従って実施すること。
  - ◆ 散布機種に適合した散布装置を使用すること。
  - ◆ 散布中、薬液の漏れの無いように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
  - ◆ 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
  - ◆ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意すること。
  - ◆ 作業終了後は次の項目を守ること。
    - ① 使用後の空の容器は放置せず安全な場所に適切に処理すること。
    - ② 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に責任者を決めて保管すること。
    - ③ 機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
- 本剤を本田の水稲に対して希釈倍数１５０倍で使用する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用すること。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 誤飲などのないよう注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。
- ❖ 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- ❖ 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- ❖ 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをすること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないこと。
  無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意すること。
  使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。